

目標値の進捗状況及び未達成指標の要因について 【厚木市障がい者福祉計画（第 7 期）指標】

1 計画値を大幅に上回った主要な項目

(1) 施策の方向 1 障がい者理解の促進

取組 1 障がい者理解を広めるための普及啓発活動						
ヘルプカードの配布枚数						
	目標値	660 枚	実績値	1,804 枚	達成率	273.3%
障がい者の理解を促進するための研修会やイベント等の開催回数						
	目標値	3 回	実績値	5 回	達成率	166.7%
市内小・中学校に対する障がい者理解の促進実施校数（累計）						
	目標値	18 校	実績値	23 校	達成率	127.8%
取組 3 とともに学び、育み合うインクルージョン（包容）の推進						
保育所等訪問支援の延べ利用日数及び実利用者数（年間）						
上段：延べ利用日数						
	目標値	372 日	実績値	492 日	達成率	132.3%

(2) 施策の方向 5 就労支援の充実

取組 2 行政内における障がい者雇用の推進及び定着に関する取組						
障がい者雇用職場（しごとサポート室「すまいる」）の活用件数						
	目標値	412 件	実績値	845 件	達成率	205.1%
取組 4 就労継続支援事業所等の工賃等アップに向けた取組						
障害者優先調達推進法に基づく障がい者就労施設等からの物品等の調達実績						
	目標値	9,150 千円	実績値	15,590 千円	達成率	170.4%
障がい者就労施設共同受注窓口（てとて）の契約件数（累計）						
	目標値	70 件	実績値	97 件	達成率	138.6%

(3) 施策の方向 6 居住支援の充実

取組 1 地域生活支援拠点の機能強化						
市内事業所職員における本市地域生活支援拠点に関する理解・認知の割合						
	目標値	50.0%	実績値	98.8%	達成率	197.6%

取組 3 地域における居住等支援						
障がい者相談支援センターにおけるアウトリーチ支援実施件数						
目標値	60 件	実績値	128 件	達成率	213.3%	

(4) 施策の方向 8 日常生活を支えるサービスの充実

取組 2 障害福祉サービス等の質の向上						
障がい児・者支援実務者研修講座の参加者の人数						
目標値	70 人	実績値	157 人	達成率	224.3%	
介護職の人材確保支援を通じての研修等受講件数						
目標値	185 件	実績値	223 件	達成率	120.5%	

(5) 施策の方向 10 災害時支援体制の強化

取組 2 「自助」のための事前対策の促進						
防災対策チェックリストの配布数						
目標値	200 部	実績値	326 部	達成率	163.0%	

2 計画値を大幅に下回った主要な項目

(1) 施策の方向 1 障がい者理解の促進

取組 2 相互に理解を深めるための交流活動						
障がい者体育大会への参加者数						
目標値	660 人	実績値	378 人	達成率	57.3%	
未達成の要因	これまで参加していた障がい者団体が解散するなどしたため。					
改善策	本大会含め、現状のイベント等の取組を整理し、障がい者と市民の交流が促進されるよう見直しを図る。					
障害者地域生活サポート事業における地域交流等支援事業実施事業所数						
目標値	9 事業所	実績値	5 事業所	達成率	55.6%	
未達成の要因	市内の事業所に対して事業の周知を行ったものの、目標値に達する申請がなかったため。					
改善策	市内の事業所に対する調査において、地域との交流を実施・検討している事業所の割合が 60%以上あったことから、引き続き本事業を周知し、促進を図る。					

(2) 施策の方向 2 権利擁護の推進

取組 4 行政における不当な差別的取扱いの禁止と合理的配慮の提供の推進					
障がい者理解に関する職員研修への参加者数					
目標値	100 人	実績値	61 人	達成率	61.0%
未達成の要因	令和 7 年度は新採用職員のみ実施したため。				
改善策	新採用職員の研修を除き、職員研修の実施方針が変更となったことから、新たな研修方法を検討する。				

(3) 施策の方向 3 相談支援体制の充実

取組 1 地域の相談支援体制の充実					
障がい者相談支援センターの認知度の割合					
目標値	58.0%	実績値	37.9%	達成率	65.3%
未達成の要因	障がいのある市民に対する調査において、前回調査から改善したもの、手帳所持者の認知度が低く、さらに、本調査で相談機関を知らない者の割合が 26.6%と依然として高いため。				
改善策	困ったときに地域で相談できる場所があることは、障がい者の地域生活に必要な取組であることから、引き続き広く周知を進める。				

(4) 施策の方向 4 一貫した療育支援体制の確立

取組 2 学校生活期における支援の充実					
通常学級における指導・支援に関する職員研修会の実施回数					
目標値	40 回	実績値	18 回	達成率	45.0%
未達成の要因	全小中学校で毎年開催を予定していたが、研修を実施する講師の都合により、学校ごとに 2 年間において 1 回実施する隔年開催へと変更したため。				
改善策	開催方法の変更に伴い、2 年間で全校が受講できる体制を確保し、次期計画において目標値の下方修正を行う。				

取組 3 医療的ケア児及び重症心身障がい児への支援

医療的ケアに関する事業利用日数等

上段：重度障害児メディカルショートステイ事業

目標値	20 日	実績値	0 日	達成率	0.0%
未達成 の要因	神奈川県において同様の事業を始めたことから、当該事業を廃止したため。				
改善策	事業の廃止に伴い、次期計画では削除する。				

市内医療型短期入所の事業所数

目標値	4 事業所	実績値	3 事業所	達成率	75.0%
未達成 の要因	医療型の新規開設はなかったが、市の補助金を活用し、医療的ケア児の受入れができる短期入所事業所が 1 事業所開設した。				
改善策	補助金の周知を行うとともに、事業所の開設促進を図る。				

取組 4 障害児通所支援の適正利用及びサービスの質の向上

指定障害児相談支援を通じた障害児支援利用計画を作成している障がい児の割合

目標値	30.0%	実績値	22.9%	達成率	76.3%
未達成 の要因	障害児相談支援を利用している障がい児は前年度から約 8.2%増加したものの、実績値は減少していることから、作成している人数以上に、サービスを利用する人数の伸びがはるかに上回っているため。				
改善策	障害児相談支援の担い手を増やす取組を実施するとともに、サービス利用時における障害児相談支援の導入を検討する。				

相談支援専門員に対する研修及び現場指導の実施回数

目標値	190 回	実績値	86 回	達成率	45.3%
未達成 の要因	研修メニューを全て受講した事業所が増加したため。				
改善策	取組は継続するとともに、今後の研修の在り方について検討する。				

(5) 施策の方向 6 居住支援の充実

取組 1 地域生活支援拠点の機能強化					
市内障害福祉サービス等事業所の地域生活支援拠点の登録数					
目標値	53 か所	実績値	39 か所	達成率	73.6%
未達成の要因	令和 6 年度報酬改定による制度の変更があったことから、事業所から届出の辞退等があり、登録数が減少したため。				
改善策	施設入所から地域生活の体験を促進する目的から新たに機能を拡充したことから、関係事業所に周知し、登録の促進を図る。				

取組 2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築					
保健、医療及び福祉関係者による協議の場における本市援護者の情報提供や協議等実施回数					
目標値	2 回	実績値	1 回	達成率	50.0%
未達成の要因	協議の場の開催回数が 1 回にとどまったため。				
改善策	昨年度の反省を踏まえ、今年度は既に 6 月に 1 回目を実施済みである。今年度は年 2 回の実施を予定しており、引き続き協議の場の確実な開催と活性化に努める。				

(6) 施策の方向 8 日常生活を支えるサービスの充実

取組 1 地域生活支援の充実					
障がい福祉の制度について情報が取得しやすい環境が整っていると思う割合					
目標値	70.0%	実績値	38.6%	達成率	55.1%
未達成の要因	障がいのある市民に対する調査において、「何とも言えない」の割合が 45.0%と最も高く、明確に取得しやすい環境と言えないため。				
改善策	それぞれの障がい種別に対応できるよう、窓口対応、紙面やホームページ含め、市民が取得しやすい環境づくりに取り組む。				

取組 3 介護職の人材確保支援					
職員が不足していると思う市内障害福祉サービス等事業所の割合					
目標値	60.0%	実績値	75.3%	達成率	79.7%
未達成の要因	事業者に対する調査において、訪問系サービスで顕著に不足と感じている割合が高く、新たな介護人材の確保等に至らず、職員不足が解消できていないため。				
改善策	新たに創設した介護職等雇用サポート事業を活用し、求人等の人材確保に資する取組だけではなく、業務効率化を目的とした I C T 機器の導入等を促進し、人手不足の解消を図る。				

(7) 施策の方向 9 健康・医療の充実

取組 1 障がいの要因となる疾病や重度化の予防と健康増進に向けた取組の充実					
健康相談利用件数					
目標値	250 件	実績値	199 件	達成率	79.6%
未達成の要因	新型コロナウイルス感染症拡大以降、予約制となったことから目標に満たなかったため。				
改善策	予約制になったことに伴い、次期計画において目標値の下方修正を行う。				

(8) 施策の方向 10 災害時支援体制の強化

取組 1 地域の防災ネットワークづくり

自主防災隊が実施した防災訓練のうち、障がい者が参加した訓練の割合					
目標値	16.0%	実績値	4.8%	達成率	30.0%
未達成の要因	209 の自主防災隊のうち 195 の自主防災隊が、季節的に暑い 8 月 31 日に実施したことから、障がい者を含め参加者が少なくなったため。				
改善策	猛暑日を避けるなど、参加しやすい時期での実施を検討する。 また、防災担当課及び自治会等の地域と連携を図り、障がい者が参加しやすい防災訓練の実施を検討する。				

(9) 施策の方向 1 1 地域をつなぐネットワークの構築

取組 1 見守り活動の充実					
住んでいる地域で住民同士の支え合いがあると思う人の割合					
目標値	53.5%	実績値	42.3%	達成率	79.1%
未達成の要因	障がいのある市民に対する調査において、前回調査から改善したものの、「どちらかと言えない」及び「ない」の割合を合算すると過半数となることから、実感できる環境が整備されていないため。				
改善策	地域福祉計画と整合を図り、支え合いが実感できる取組を検討する。				

3 総括

施策一覧	指標 設定数	目標達成 件数	達成率の 平均値
施策の方向 1 障がい者理解の促進	10 件	5 件	117.5%
施策の方向 2 権利擁護の推進	7 件	5 件	99.1%
施策の方向 3 相談支援体制の充実	2 件	1 件	82.7%
施策の方向 4 一貫した療育支援体制の確立	9 件	3 件	72.2%
施策の方向 5 就労支援の充実	5 件	3 件	136.0%
施策の方向 6 居住支援の充実	5 件	2 件	124.4%
施策の方向 7 社会参加の促進	6 件	0 件	88.8%
施策の方向 8 日常生活を支えるサービスの充実	8 件	4 件	108.8%
施策の方向 9 健康・医療の充実	2 件	1 件	93.7%
施策の方向 10 災害時支援体制の強化	3 件	1 件	96.7%
施策の方向 11 地域をつなぐネットワークの構築	4 件	3 件	100.2%
施策の方向 12 地域における人材等の養成	2 件	1 件	102.7%
合計	63 件	29 件	102.7%

※ 現時点で不明の実績を除く

施策の方向 1 から 12 において、それぞれ定める指標のうち、半分以上が達成となった施策の方向は合計で 8 つとなった。

施策の方向に定めている重要な施策のうち、「施策の方向 2 権利擁護の推進」、「施策の方向 5 就労支援の充実」及び「施策の方向 11 地域をつなぐネットワークの構築」については、目標値を達成した指標が多く、概ね順調に進んでいると認識している。

一方で、「施策の方向 7 社会参加の促進」及び「施策の方向 10 災害時支援体制の強化」において、設定された目標値を下回る指標が多数あった。この状況を鑑み、今後さらなる取組の強化が不可欠であると認識している。

特に、「施策の方向 7 社会参加の促進」については、全ての指標で目標達成に至っていないため、地域や社会における様々な活動への参加を促す環境整備が課題であるとともに、利用者のニーズを詳細に把握した上で移動支援の制度の見直しを図り、タクシー券、ガソリン券及びバス割引証についても、併せて周知に努める。

また、手話通訳者や要約筆記者の担い手不足という現状を踏まえ、令和 7 年 6 月 25 日に施行された『手話に関する施策の推進に関する法律』に沿って、引き続き人材の育成に努めていく。